

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1
Data Bit	8
Parity	Odd or Even or None 可変
Data Rate	2,400～38,400bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

HD-SDI マルチビューワ (SMV-1600) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態時の「ALARM」という文字表示の設定を【OFF】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-2. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態時の「ALARM」という文字表示の設定を【ON】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-3. 「ADTnnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nnn seconds)

アラーム状態の保持時間を設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。
nnnは、設定値で設定範囲は【003】～【999】秒です。

2-2-1-4. 「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

アラームのモードを外部【EXTERNAL】に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-5. 「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

アラームのモードを内部【INTERNAL】に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6. 「APB+CR,LF」 (Alarm Polarity Break)

アラーム入力の極性をブレイク【**BREAK**】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

アラームのモードが外部の場合は、常にメーク設定になります。

2-2-1-7. 「APM+CR,LF」 (Alarm Polarity Make)

アラーム入力の極性をメーク【**MAKE**】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8. 「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)

アラーム リターンを【**OFF**】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンを【**ON**】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)

分割画面の境界線を黒色【**BLACK**】に設定します。

2-2-2-2. 「BLG+CR,LF」 (Border Line Gray)

分割画面の境界線を灰色【**GRAY**】に設定します。

2-2-2-3. 「BLO+CR,LF」 (Border Line Off)

分割画面の境界線を無し【**OFF**】に設定します。

2-2-2-4. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)

分割画面の境界線を白色【**WHITE**】に設定します。

2-2-3. カメラチャンネル選択

2-2-3-1. 「CCAS+CR,LF」 (Change Camera Auto Sequence)

オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【**EXT.**】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-2. 「CD4A+CR,LF」 (Change Division screen 4A)

4分割画面 A を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【**EXT.**】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-3. 「CD4B+CR,LF」 (Change Division screen 4B)

4分割画面 B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【**EXT.**】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-4. 「CD 4 C+CR,LF」 (Change Division screen 4C)

4 分割画面 C を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-5. 「CD 4 D+CR,LF」 (Change Division screen 4D)

4 分割画面 D を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-6. 「CD 6 A+CR,LF」 (Change Division screen 6A)

6 分割画面 A を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-7. 「CD 6 B+CR,LF」 (Change Division screen 6B)

6 分割画面 B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-8. 「CD 6 C+CR,LF」 (Change Division screen 6C)

6 分割画面 C を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-9. 「CD 9 A+CR,LF」 (Change Division screen 9A)

9 分割画面 A を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-10. 「CD 9 B+CR,LF」 (Change Division screen 9B)

9 分割画面 B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-11. 「CD 13 A+CR,LF」 (Change Division screen 13A)

13 分割画面 A を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-12. 「CD 13 B+CR,LF」 (Change Division screen 13B)

13 分割画面 B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-13. 「CD 1 6+CR,LF」 (Change Division screen 16)

16 分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-14. 「CS 0 1+CR,LF」～「CS 1 6+CR,LF」 (Change Single screen ch.1～16)

単画面のチャンネル No. 1～16 を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-4. 自動切換えモード

2-2-4-1. 「CASMD+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Division screen)

オートシーケンスのモードを分割【DIV.】に設定します。

2-2-4-2. 「CASMM+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Mix screen)

オートシーケンスのモードをミックス【MIX】に設定します。

2-2-4-3. 「CASMS+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Single screen)

オートシーケンスのモードを単画面【SINGLE】に設定します。

2-2-5. 自動切換え時間設定

2-2-5-1. 「CASTD 4 A n n+CR,LF」～「CASTD 1 6 n n+CR,LF」

(Camera Auto Sequence Time Division screen 4.A～16)

オートシーケンス分割画面モードの画面切換え時間を個別に設定します。

n n は、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5-2. 「CASTD n n n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Division screen)

オートシーケンス分割画面モードの画面切換え時間をまとめて設定します。

n n は、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5-3. 「CASTM n n n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Mix ch.1～Div.16)

オートシーケンス MIX モードの画面切換え時間をまとめて設定します。

n n は、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5-4. 「CASTS n n n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Single screen)

オートシーケンス単画面モードの切換え時間をまとめて設定します。

n n は、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5-5. 「CASTS 0 1 n n+CR,LF」～「CASTS 1 6 n n+CR,LF」

(Camera Auto Sequence Time Single screen ch.1～16)

オートシーケンス単画面モードの切換え時間を個別に設定します。

n n は、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-6.コネクタ入力設定

2-2-6-1.「C I A+CR,LF」 (Connector In Alarm)

端子台入力をアラーム【ALARM】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-2.「C I R+CR,LF」 (Connector In Remote)

端子台入力をリモート【REMOTE】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7.タイトル関連

2-2-7-1.「CT 0 1 * * * * * +CR,LF」～「CT 1 6 * * * * * +CR,LF」

(Character Title ch.1～16 Set)

各チャンネルのタイトル・キャラクタを設定します。

タイトルの文字長さは8文字なので8文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

*印は、タイトルで18ページのASCII Code表を参照してください。

“⇒”，“～”，“（”，“）”を設定する場合は以下のASCII Codeを使用してください。

⇒ # (2 3 H)

～ \$ (2 4 H)

(< (3 c H)

) > (3 e H)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-2.「CTN 0 1 * * * * * +CR,LF」～「CTN 1 6 * * * * * +CR,LF」

(Character Title do not memory ch.1～16 Set)

各チャンネルのタイトル・キャラクタを設定します。 ※Data をFROMに記憶しません。

タイトルの文字長さは8文字なので8文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

*印は、タイトルで18ページのASCII Code表を参照してください。

“⇒”，“～”，“（”，“）”を設定する場合は以下のASCII Codeを使用してください。

⇒ # (2 3 H)

～ \$ (2 4 H)

(< (3 c H)

) > (3 e H)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-3.「CTDD 4 OF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 4 Off)

4分割画面時のタイトル表示をしない【OFF】に設定します。

2-2-7-4.「CTDD 4 ON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 4 On)

4分割画面時のタイトル表示をする【ON】に設定します。

2-2-7-5.「CTDD 6 OF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 6 Off)

6分割画面時のタイトル表示をしない【OFF】に設定します。

2-2-7-6.「CTDD 6 ON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 6 On)

6分割画面時のタイトル表示をする【ON】に設定します。

2-2-7-7.「CTDD 9 OF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 9 Off)

9分割画面時のタイトル表示をしない【OFF】に設定します。

2-2-7-8.「CTDD 9 ON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 9 On)

9分割画面時のタイトル表示をする【ON】に設定します。

- 2-2-7-9. 「CTDD 1 3 OF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 13 Off)
13 分割画面時のタイトル表示をしない【OFF】に設定します。
- 2-2-7-10. 「CTDD 1 3 ON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 13 On)
13 分割画面時のタイトル表示をする【ON】に設定します。
- 2-2-7-11. 「CTDD 1 6 OF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 16 Off)
16 分割画面時のタイトル表示をしない【OFF】に設定します。
- 2-2-7-12. 「CTDD 1 6 ON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen 16 On)
16 分割画面時のタイトル表示をする【ON】に設定します。
- 2-2-7-13. 「CTDSOF+CR,LF」 (Character Title Display Single screen Off)
単画面時のタイトル表示をしない【OFF】に設定します。
- 2-2-7-14. 「CTDS ON+CR,LF」 (Character Title Display Single screen On)
単画面時のタイトル表示をする【ON】に設定します。
- 2-2-7-15. 「CTFSD 4 p+CR,LF」 (Character Title Font Size Division 4)
4 分割画面時のタイトルの文字サイズを設定します。
pは、表示サイズ設定でL/M/Sです。
Lは【LARGE】，Mは【MEDIUM】，Sは【SMALL】です。
- 2-2-7-16. 「CTFSD 6 p+CR,LF」 (Character Title Font Size Division 6)
6 分割画面時のタイトルの文字サイズを設定します。
pは、表示サイズ設定でL/M/Sです。
Lは【LARGE】，Mは【MEDIUM】，Sは【SMALL】です。
- 2-2-7-17. 「CTFSD 9 p+CR,LF」 (Character Title Font Size Division 9)
9 分割画面時のタイトルの文字サイズを設定します。
pは、表示サイズ設定でL/M/Sです。
Lは【LARGE】，Mは【MEDIUM】，Sは【SMALL】です。
- 2-2-7-18. 「CTFSD 13 p+CR,LF」 (Character Title Font Size Division 13)
13 分割画面時のタイトルの文字サイズを設定します。
pは、表示サイズ設定でL/M/Sです。
Lは【LARGE】，Mは【MEDIUM】，Sは【SMALL】です。
- 2-2-7-19. 「CTFSD 16 p+CR,LF」 (Character Title Font Size Division 16)
16 分割画面時のタイトルの文字サイズを設定します。
pは、表示サイズ設定でL/M/Sです。
Lは【LARGE】，Mは【MEDIUM】，Sは【SMALL】です。
- 2-2-7-20. 「CTPX n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Character Title Position X 座標)
全ての単画面のタイトル表示位置X座標をまとめて設定します。
設定範囲は【00】～【30】です。
- 2-2-7-21. 「CTPX 0 1 n n+CR,LF」～「CTPX 1 6 n n+CR,LF」
(Character Title Position X 座標 ch.1～16)
単画面のタイトル表示位置X座標を個別に設定します。
n nは、設定値で設定範囲は【00】～【30】です。

2-2-7-22. 「CTPYnnnnnn~nn+CR,LF」 (Character Title Position Y座標)

全ての単画面のタイトル表示位置Y座標をまとめて設定します。

設定範囲は【03】～【21】です。

2-2-7-23. 「CTPY01nn+CR,LF」～「CTPY16nn+CR,LF」

(Character Title Position Y座標 ch.1～16)

単画面のタイトル表示位置Y座標を個別に設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【03】～【21】です。

2-2-8. 日付,時刻設定

2-2-8-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは、設定値で範囲は【01】～【31】日です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは、設定値で範囲は【01】～【12】月です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは、設定値で範囲は【00】～【99】年です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-4. 「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-5. 「TDSyyymmddhhMMss+CR,LF」

(Time & Date Set Year/Month/Day/Hour/Minute/Second)

年月日時分秒の設定をまとめてします。

yyは、設定値で設定範囲は【00】～【99】年です。

mmは、設定値で設定範囲は【01】～【12】月です。

ddは、設定値で設定範囲は【01】～【31】日です。

hhは、設定値で設定範囲は【00】～【23】時です。

MMは、設定値で設定範囲は【00】～【59】分です。

ssは、設定値で設定範囲は【00】～【59】秒です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-6. 「TSHnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位を設定します。

nnは、設定値で範囲は【00】～【23】時です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-7. 「TSMnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位を設定します。

nnは、設定値で範囲は【00】～【59】分です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8-8. 「T S S n n+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位を設定します。

n nは、設定値で範囲は【00】～【59】秒です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-9.日付,時刻表示設定

2-2-9-1. 「T S D O F+CR,LF」 (Time Signal Display Off)

メイン画面の時刻表示をしない【OFF】に設定します。

2-2-9-2. 「T S D O N+CR,LF」 (Time Signal Display On)

メイン画面の時刻表示をする【ON】に設定します。

2-2-9-3. 「T S D R 1+CR,LF」～「T S D R 8+CR,LF」 (Time Signal Display Range 1～8)

時刻表示のレンジを設定します。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

2-2-10.ボタン ロック設定

2-2-10-1. 「L O F+CR,LF」 (Lock Off)

ボタン・ロックを解除します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-10-2. 「L O N+CR,LF」 (Lock On)

ボタン・ロックを設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-11.OSD 表示位置微調整

2-2-11-1. 「O O H n n+CR,LF」 (OSD Offset Horizontal 00～15)

OSD 表示の水平方向の微調整をします。

n nは、設定値で範囲は【00】～【15】です。

2-2-11-2. 「O O V n n+CR,LF」 (OSD Offset Vertical 00～15)

OSD 表示の垂直方向の微調整をします。

n nは、設定値で範囲は【00】～【15】です。

2-2-12.電源投入時画面設定

2-2-12-1. 「P O S C A S+CR,LF」 (Power On Screen Camera Auto Sequence)

電源投入時の画面を自動切換えに設定します。

2-2-12-2. 「P O S D 4 A+CR,LF」～「P O S D 1 6+CR,LF」 (Power On Screen Division 4A～16)

電源投入時の画面を分割画面に設定します。

2-2-12-3. 「P O S S 0 1+CR,LF」～「P O S S 1 6+CR,LF」 (Power On Screen Single ch.1～16)

電源投入時の画面を単画面に設定します。

2-2-13. 分割画面チャンネル配置

2-2-13-1「SPD 4 A n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 4A)
4 分割画面 A に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-2「SPD 4 B n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 4B)
4 分割画面 B に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-3「SPD 4 C n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 4C)
4 分割画面 C に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-4「SPD 4 D n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 4D)
4 分割画面 D に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-5「SPD 6 A n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 6A)
6 分割画面 A に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-6「SPD 6 B n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 6B)
6 分割画面 B に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-7「SPD 6 C n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 6C)
6 分割画面 C に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-8「SPD 9 A n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 9A)
9 分割画面 A に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-9「SPD 9 B n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 9B)
9 分割画面 B に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-10「SPD 13 A n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 13A)
13 分割画面 A に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-11「SPD 13 B n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 13B)
13 分割画面 B に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-13-12「SPD 16 n n n n n n n n~n n+CR,LF」 (Screen Placement Division screen 16)
16 分割画面に任意のチャンネルを配置します。
n n は、設定値で設定範囲は【0 1】～【1 6】です。

2-2-14.ビデオ・ロス

2-2-14-1. 「VL01OF+CR,LF」～「VL16OF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.1～16 Off)
各チャンネルのビデオ ロスの検出をしない【OFF】に個別に設定します。

2-2-14-2. 「VL01ON+CR,LF」～「VL16ON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.1～16 On)
各チャンネルのビデオ ロスの検出をする【ON】に個別に設定します。

2-2-14-3. 「VLoooo～o+CR,LF」 (Video Loss detect ch.1～16)
全チャンネルのビデオ ロスの検出設定をまとめてします。
oは、「F」が【OFF】，「N」が【ON】です。

2-2-14-4. 「VLAOF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.1～16 All Off)
全チャンネルのビデオ ロスの検出をしない【OFF】に設定します。

2-2-14-5. 「VLAON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.1～16 All On)
全チャンネルのビデオ ロスの検出をする【ON】に設定します。

2-2-14-6. 「VLDOF+CR,LF」 (Video Loss Display Off)
ビデオ ロスの表示をしない【OFF】に設定します。

2-2-14-7. 「VLDON+CR,LF」 (Video Loss Display On)
ビデオ ロスの表示をする【ON】に設定します。

2-2-14-8. 「VLSOOF+CR,LF」 (Video Loss Signal Output Off)
ビデオ ロスの信号出力をしない【OFF】に設定します。

2-2-14-9. 「VLSOON+CR,LF」 (Video Loss Signal Output On)
ビデオ ロスの信号出力をする【ON】に設定します。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	Framing error
「E 1+CR,LF」	Parity error
「E 2+CR,LF」	Overrun error
「E 3+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

「ALARM」文字表示の設定を返します。

「ADOF+CR,LF」	【OFF】
「ADON+CR,LF」	【ON】

3-2-1-2.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

アラーム保持時間の設定を返します。

「ADT 0 0 3+CR,LF」～「ADT 9 9 9+CR,LF」 【0 0 3】～【9 9 9】999 秒

3-2-1-3.「RAM+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

アラーム モードの設定を返します。

「AME+CR,LF」	外部【EXTERNAL】
「AMI+CR,LF」	内部【INTERNAL】

3-2-1-4.「RAP+CR,LF」 (Read Alarm Polarity)

アラーム入力極性の設定を返します。

「APB+CR,LF」	ブレーク【BREAK】
「APM+CR,LF」	メイク【MAKE】

3-2-1-5.「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

アラーム リターンの設定を返します。

「AROF+CR,LF」	【OFF】
「ARON+CR,LF」	【ON】

3-2-2.ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

3-2-2-1.「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

分割画面の境界線の設定を返します。

「BLB+CR,LF」	黒色【BLACK】
「BLG+CR,LF」	灰色【GRAY】
「BLO+CR,LF」	無し【OFF】
「BLW+CR,LF」	白色【WHITE】

3-2-3.現在のモード

3-2-3-1.「RM+CR,LF」 (Read Mode)

SMV-1600 の現在の状態を返します。

「CAS+CR,LF」	オートシーケンスで動作中
「D 4 A+CR,LF」～「D 1 6+CR,LF」	分割画面
「S 0 1+CR,LF」～「S 1 6+CR,LF」	単画面カメラ ch.
「A 0 1+CR,LF」～「A 1 6+CR,LF」	Alarm 保持中 ch.
「MENU+CR,LF」	Menu 表示中

3-2-4.自動切換えモード

3-2-4-1.「RCASM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Mode)

自動切換えモードの設定を返します。

「CASMD+CR,LF」	分割画面【DIV.】
「CASMS+CR,LF」	単画面【SINGLE】
「CASMM+CR,LF」	ミックス【MIX】

3-2-5.自動切換え時間

3-2-5-1.「RCASTD+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division screen)

オートシーケンス分割画面モードの自動切換え時間設定をまとめて返します。

「CASTDnnnnnn~nn+CR,LF」
nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

3-2-5-2.「RCASTD4A+CR,LF」～「RCASTD16+CR,LF」

(Read Camera Auto Sequence Time Division screen 4A～16)

オートシーケンス分割画面モードの自動切換え時間設定を個別に返します。

「CASTD4Annn+CR,LF」～「CASTD16nn+CR,LF」
nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

3-2-5-3.「RCASTM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix screen)

オートシーケンスMIXモードの自動切換え時間設定をまとめて返します。

「CASTMnnnnnn~nn+CR,LF」
nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

3-2-5-4.「RCASTS+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single screen)

オートシーケンス単画面モードの自動切換え時間設定をまとめて返します。

「CASTSnnnnnn~nn+CR,LF」
nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

3-2-5-5.「RCASTS01+CR,LF」～「RCASTS16+CR,LF」

(Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch.1～16)

オートシーケンス単画面モードの自動切換え時間設定を個別に返します。

「CASTS01nn+CR,LF」～「CASTS16nn+CR,LF」
nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

3-2-6.コネクタ入力

3-2-6-1.「RCI+CR,LF」 (Read Connector In)

端子台入力の設定を返します。

「CIA+CR,LF」	アラーム【ALARM】
「CIR+CR,LF」	リモート【REMOTE】

3-2-7.タイトル関連

3-2-7-1.「RCT01+CR,LF」～「RCT16+CR,LF」 (Read Character Title ch.1～16)

各チャンネルのタイトル設定を返します。

「CT01*****+CR,LF」～「CT16*****+CR,LF」

*印はタイトルで18ページのASCII Code表を参照してください。

3-2-7-2. 「RCTDD 4+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen 4)

4 分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDD 4 OF+CR,LF」 【OFF】

「CTDD 4 ON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-3. 「RCTDD 6+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen 6)

6 分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDD 6 OF+CR,LF」 【OFF】

「CTDD 6 ON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-4. 「RCTDD 9+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen 9)

9 分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDD 9 OF+CR,LF」 【OFF】

「CTDD 9 ON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-5. 「RCTDD 13+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen 13)

13 分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDD 13 OF+CR,LF」 【OFF】

「CTDD 13 ON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-6. 「RCTDD 16+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen 16)

16 分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDD 16 OF+CR,LF」 【OFF】

「CTDD 16 ON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-7. 「RCTDS+CR,LF」 (Read Character Title Display Single screen)

単画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDS OF+CR,LF」 【OFF】

「CTDS ON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-8. 「RCTPX+CR,LF」 (Read Character Title Position X)

単画面時の全チャンネルのタイトル位置 X 座標設定をまとめて返します。

「CTPX n n n n n n n n n n+CR,LF」

n n は、設定値で設定範囲は 【00】 ～ 【30】 です。

3-2-7-9. 「CTFSD 4+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Division 4)

4 分割画面時のタイトルの文字サイズを返します。

「CTFSD 4 S+CR,LF」 Small

「CTFSD 4 M+CR,LF」 Medium

「CTFSD 4 L+CR,LF」 Large

3-2-7-10. 「CTFSD 6+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Division 6)

6 分割画面時のタイトルの文字サイズを返します。

「CTFSD 6 S+CR,LF」 Small

「CTFSD 6 M+CR,LF」 Medium

「CTFSD 6 L+CR,LF」 Large

3-2-7-11. 「CTFSD 9+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Division 9)

9 分割画面時のタイトルの文字サイズを返します。

「CTFSD 9 S+CR,LF」 Small

「CTFSD 9 M+CR,LF」 Medium

「CTFSD 9 L+CR,LF」 Large

3-2-7-12. 「RCTFSD13+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Division 13)

13 分割画面時のタイトルの文字サイズを返します。

「CTFSD13S+CR,LF」 Small

「CTFSD13M+CR,LF」 Medium

「CTFSD13L+CR,LF」 Large

3-2-7-13. 「RCTPX01+CR,LF」～「RCTPX16+CR,LF」

(Read Character Title Position X ch.1～16)

単画面時の各チャンネルのタイトル表示位置 X 座標設定を個別に返します。

「CTPX01nn+CR,LF」～「CTPX16nn+CR,LF」

nn は、設定値で設定範囲は【00】～【30】です。

3-2-7-14. 「RCTPY+CR,LF」 (Read Character Title Position Y)

単画面時の全チャンネルのタイトル位置 Y 座標設定をまとめて返します。

「CTPYnnnnnn～nn+CR,LF」

nn は、設定値で設定範囲は【03】～【21】です。

3-2-7-15. 「RCTPY01+CR,LF」～「RCTPY16+CR,LF」

(Read Character Title Position Y ch.1～16)

単画面時の各チャンネルのタイトル表示位置 Y 座標設定を個別に返します。

「CTPY01nn+CR,LF」～「CTPY16nn+CR,LF」

nn は、設定値で設定範囲は【03】～【21】です。

3-2-8. 日付,時刻

3-2-8-1. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

SMV-1600 の日付&時刻を返します。

「yyyy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」

yyyy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-9. 日付,時刻表示

3-2-9-1. 「RTSD+CR,LF」 (Read Time Signal Display)

メイン画面の時刻表示の設定を返します。

「TSDOF+CR,LF」 【OFF】

「TSDON+CR,LF」 【ON】

3-2-9-2. 「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDR1+CR,LF」～「TSDR8+CR,LF」

1 は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2 は【YMDHM】 年月日時分 です。

3 は【YMD】 年月日 です。

4 は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5 は【MDHM】 月日時分 です。

6 は【MD】 月日 です。

7 は【HMS】 時分秒 です。

8 は【HM】 時分 です。

3-2-10. ボタン ロック

3-2-10-1. 「RL+CR,LF」 (Read Lock condition)

ボタン ロックの状態を返します。

「LOF+CR,LF」 ロック解除

「LON+CR,LF」 ロック中

3-2-11. OSD 表示位置微調整

3-2-11-1. 「ROOH+CR,LF」 (Read OSD Offset Horizontal)

OSD 表示の水平方向の微調整値を返します。

「OOHnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【15】です。

3-2-11-2. 「ROOV+CR,LF」 (Read OSD Offset Vertical)

OSD 表示の垂直方向の微調整値を返します。

「OOVnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【15】です。

3-2-12. 電源投入時の画面設定

3-2-12-1. 「RPOS+CR,LF」 (Read Power On Screen)

電源投入時の画面設定を返します。

「POSCAS+CR,LF」

「POSD4A+CR,LF」～「POSD16CR,LF」

「POSS01+CR,LF」～「POSS16+CR,LF」

自動切換え

分割画面

単画面

3-2-13 分割画面チャンネル配置

3-2-13-1. 「RSPD4A+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 4A)

4 分割画面 A のチャンネル配置設定を返します。

「SPD4Annnnnnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-2. 「RSPD4B+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 4B)

4 分割画面 B のチャンネル配置設定を返します。

「SPD4Bnnnnnnnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-3. 「RSPD4C+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 4C)

4 分割画面 C のチャンネル配置設定を返します。

「SPD4Cnnnnnnnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-4. 「RSPD4D+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 4D)

4 分割画面 D のチャンネル配置設定を返します。

「SPD4Dnnnnnnnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-5. 「RSPD6A+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 6A)

6 分割画面 A のチャンネル配置設定を返します。

「SPD6Annnnnnn～nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-6. 「RSPD6B+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 6B)

6分割画面Bのチャンネル配置設定を返します。

「SPD6Bnnnnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-7. 「RSPD6C+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 6C)

6分割画面Cのチャンネル配置設定を返します。

「SPD6Cnnnnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-8. 「RSPD9A+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 9A)

9分割画面Aのチャンネル配置設定を返します。

「SPD9Annnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-9. 「RSPD9B+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 9B)

9分割画面Bのチャンネル配置設定を返します。

「SPD9Bnnnnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-10. 「RSPD13A+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 13A)

13分割画面Aのチャンネル配置設定を返します。

「SPD13Annnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-11. 「RSPD13B+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 13B)

13分割画面Bのチャンネル配置設定を返します。

「SPD13Bnnnnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-13-12. 「RSPD16+CR,LF」 (Read Screen Placement Division screen 16)

16分割画面のチャンネル配置設定を返します。

「SPD16nnnnnn~nn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-14. ビデオ・ロス

3-2-14-1. 「RVL+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.1~16)

全チャンネルのビデオ・ロスの設定をまとめて返します。

「VLo~o+CR,LF」

oは、「F」【OFF】、「N」【ON】です。

3-2-14-2. 「RVL01+CR,LF」～「RVL16+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.1~16)

各チャンネルのビデオ・ロスの設定を個別に返します。

「VL01OF+CR,LF」～【OFF】

「VL16ON+CR,LF」【ON】

3-2-14-3. 「RVLD+CR,LF」 (Read Video Loss Display)

ビデオ・ロスの表示設定を返します。

「VLDOF+CR,LF」【OFF】

「VLDON+CR,LF」【ON】

3-2-14-4. 「RVL SO+CR,LF」 (Read Video Loss Signal Output)

ビデオ・ロスの信号出力設定を返します。

「VLS OOF+CR,LF」 **【OFF】**

「VLS OON+CR,LF」 **【ON】**

3-2-17.バージョン情報

3-2-17-1. 「RVN+CR,LF」 (Read Version Number)

ファームウェアのバージョン ナンバーを返します。

「SMV-1600 Ver. n. nn+CR,LF」 nは数値です。

4. ご注意

Command の発行と同時に SMV-1600 のフロントスイッチを操作、またはリモート操作を行いますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 100mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

CS Command の発行を連続で行う場合 500mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

CT Command の発行を連続で行う場合 500mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5. 変更履歴

2017.04.06 初版

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘-’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	20H	a	61H	タ	C0H
		b	62H	チ	C1H
:	3AH	c	63H	ツ	C2H
<	3CH	d	64H	テ	C3H
>	3EH	e	65H	ト	C4H
—	2DH	f	66H		
.	2EH	g	67H	ナ	C5H
/	2FH	h	68H	ニ	C6H
		i	69H	ヌ	C7H
0	30H	j	6AH	ネ	C8H
1	31H	k	6BH	ノ	C9H
2	32H	l	6CH		
3	33H	m	6DH	ハ	CAH
4	34H	n	6EH	ヒ	CBH
5	35H	o	6FH	フ	CCH
6	36H	p	70H	ヘ	CDH
7	37H	q	71H	ホ	CEH
8	38H	r	72H		
9	39H	s	73H	マ	CFH
		t	74H	ミ	D0H
A	41H	u	75H	ム	D1H
B	42H	v	76H	メ	D2H
C	43H	w	77H	モ	D3H
D	44H	x	78H		
E	45H	y	79H	ヤ	D4H
F	46H	z	7AH	イ	A8H
G	47H			ユ	D5H
H	48H	ア	B1H	エ	AAH
I	49H	イ	B2H	ヨ	D6H
J	4AH	ウ	B3H		
K	4BH	エ	B4H	ラ	D7H
L	4CH	オ	B5H	リ	D8H
M	4DH			ル	D9H
N	4EH	カ	B6H	レ	DAH
O	4FH	キ	B7H	ロ	DBH
P	50H	ク	B8H		
Q	51H	ケ	B9H	ワ	DCH
R	52H	コ	BAH	ン	DDH
S	53H			ツ	AFH
T	54H	サ	BBH	ヤ	ACH
U	55H	シ	BCH	ユ	ADH
V	56H	ス	BDH	ヨ	AEH
W	57H	セ	BEH	ア	A7H
X	58H	ソ	BFH	オ	ABH
Y	59H			ゝ	DEH
Z	5AH			。	DFH